

新年あけまして おめでとうございます

10年 歩んできたフレンズ

次の20年に向け さらにステツプアップ

長久手町文化の家は平成10年7月に開館、ほとんど同時にフレンズが発足しました。あれから10年、この間を振り返って何を思い、これからのフレンズに何を期待するか。発足10周年を期にフレンズスタッフ十数名が集まって『言いたい放談会』と題し、思いのままを語っていただきました。限られた紙面ですが放談の一部を紹介します。



昨年11月14日文化の家で開催した「言いたい放談会」2時間ほど歓談、参加者から有意義な発言がたくさん出されました。

司会 今日はお忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。まずフレンズの10年をふり返り、入会されたキツカケや、活動をとおして感じたことなどがありましたらお話ください。

後藤 現役で働いていたころは、町内の方との交流が少なく、地域とふれあいたいと思っていました。それで、文化の家ができたときは、音楽が大好きなこともあって、真っ先に入会しました。

山口 わたしは長久手町に来て7・8年は地域とのつながりが無く、日進でおやこ劇場を中心に活動していました。

そのうち長久手町で公募された文化サロン企画懇話会に参加し、



文化の家建設に意見を出したり、小さな公演(文化サロン)を企画し、それが現在の活動につながっています。

司会 お互い、いろいろ個人的なお話もお聞かせ願えませんか。

熊沢 わたしも後藤さんと似ていますが、両親の介護が終わり、退職後、長久手に来たのを機会に、地域に友人を作りたいと考え入会しました。そして、安城の農業公園「デンパーク」へでかけたフレンズの研修会に思い切つて一人で参加したところ、とても良い雰囲気です。早速スタッフに登録しました。今ではライフワークとなつて、これまでの人生の経験が昇華され、楽しく良い60代を過ごしています。



ご来場のお客さんに楽しんでいただけるよう明るくさわやかに迎える フレンズスタッフ

根本 名古屋から瀬戸に移り住み定年になって、さあ、これからいろいろ楽しもうと思ったとき、長久手に「フレンズ」があることを知り入会しました。

フレンズスタッフに参加したのは、いつも楽しませてもらっているので、恩返しのような気持ちで手伝っています。

先日のホールスタッフの初体験でプログラムをお渡ししたとき、「ありがとう」と言われてとてもうれしく感じ、これから自分が観客になったときには、同じように「ありがとう」と言いたいと思うようになりました。

活動に参加してみて、初めてわかることもあり、スタッフの苦労もよくわかりました。

司会 新しい方からの感想をいただき、ありがとうございます。

堀田 私は文化の家が出来る3年ほど前、ワートルローとの国際交流の催しに参加して、文化の家建設計画を知って、その時からフレンズに入ろうと思っていました。

最近ではホールスタッフに参加しても、年齢的に「もぎり」にはメガネが必要ですし、会場案内などは体力が必要になってきました。まだまだ続けたいと思います。



橋本 音楽は素人ですが、いまままで観客として文化の家に何度も来ていました。それで公演の時スタッフの皆さんの応対を見てとても感じが良かったので、仲間に入りたいたいと思ひ参加しました。

司会 スタッフの感じが良かったと言われ、うれしいですね。お客様をお迎えする気持ちで観客に伝わっているのかも知れないですね。あらためて身を正さなくては(笑)

渡辺 私は63才です。万博の時には三つぐらいのシンポジウムを開いたり、今は、まちづくりの分野で住民と行政の協働、男女共同参画などの住民運動にかかわっています。

フレレンズには文化活動に興味があつて事業部に入つていま

す。少し前の話ですが、住民企画支援事業として、ドイツから演奏家が来日していたチャンスを生かし、風のホールでフルートコンサートを開催することができました。

そのとき、フレレンズに受付や場内案内などをお願いし、安心してお任せすることができて公演もうまくいきました。また、文化の家の技術スタッフが専門的な技量を發揮して手伝つてくれるので非常に助かりました。いつかまた、住民企画支援事業をやりたいですね。

自分に何ができるかを日頃から考えて楽しく生活し、自己実現をめざしています。フレレンズの活動も楽しくあればそれで良いと思います。

岩瀬 事業に取り組んだとき、文化の家の職員に専門技術の分野を助けていただけなのは、とてもありがたいですね。

フレレンズ入会の動機は

司会 住民企画支援事業の企画が実現できるのは文化の家があるからで、とてもよいことだと思います。次に皆さんの入会の動機などお聞かせください。

水野 私の入会のキツカケは

文化の家でたまにお会いしたお琴の先生が、当時はフレレンズの役員をしていらして、「いま暇ある？」と聞かれたのをキツカケに入会の手続きがとられ、後になって会費が必要なことを知りました。(笑)

参加しています。**松本** もともと劇場が大好きで、音楽や演劇そしてバックステージが見られることなどから、フレレンズに入会しました。そして、「パソコンを習いたい」と思つて機関紙部に入り、機関紙を作りながらパソコンを学んでいます。

次の10年にむけて

フレレンズは

司会 皆さんの入会のきっかけをうかがい、楽しみながら続けることの大切さを感じました。そしてこの10年の積み重ねを、今後どのように発展させたいか考えたいですね。

次にいろいろ気がついたことや尋ねたいこと、今後のことなど何でもよろしいですのでお聞かせください。

堀田 10年いろいろ実践してきましたが、希望や要望を実現させていくのはなかなか難しいですね。そういえば、夏の10周年記念の、錦織健コンサートの収支決算はいかがでしたか？

水野 チケットも順調に売れましたし、記念事業積立基金を少し使いましたが、持ち出しもほとんど無く、皆さんに喜んでいただけたと思います。

岩瀬 文化の家の職員の皆さんと話し合う機会があると、音楽や演劇などへの造詣がとても深いと感じます。

2月のオランダバツハ協会によるヨハネ受難曲の公演が、長久手のあと東京へ行って、それがNHKテレビで放映されたのを見て、長久手町文化の家は企画する力や優れた公演を招く力があるんだと感心しました。

これから先も、長久手町の文化にかかわる事業が後退しないことを願いたいですね。そのためフレレンズが、なにか役に立てればと思います。

水野 スタッフに入りにくいとの声があるのが気がかりです。新しく入られた人への心配りが必要ですね。

堀田 ホールスタッフとして活動している時、私語は慎むべきだと思ひます。服装なども気づいたことは注意しあつたりしていますが、いろいろ慣れてきたときこそ、小さいところもキチンとしたいわね。

長く活動し経験を重ねている人も、絶



えず自分を省みる必要があると思ひます。

水野 ホールスタッフについて「人数が足らなかつたら連絡して」と聞くと、自分から積極的に参加できる雰囲気ではないかと、すこしさびしいわね。

熊沢 初めは活動の内容などスタッフの中でどなたに尋ねたらよいかわからず不安でしたが、自宅近くに堀田さんがお住まいでしたのでいろいろ教えていただき、今に至りました。わからないことを尋ねたりするのは、フレンズに民生委員のような存在があると良いかと思ひますが、組織でがんばらめになりたくないと思ひますし、地域別に責任者を置くなどはむづかしいですか。

水野 地域別にはむづかしいですが、事業などに関しては担当者に気軽に声をかけて下さい。また、現在はスタッフ登録をしていただく前に、活動の内容や注意事項の説明もさせていただきます。

熊沢 初めは事情がわからず敷居が高く感じられました。

司会 私たち機関紙部は機関紙発行という仕事柄、一年を通してメンバーに会うことができます。

ます。他の部も同様の配慮があると思ひかもしれませんね。

岩瀬 私は機関紙部に第1号のときから参加しています。一時は多くいた部員が、いま5名に減りましたが、少人数は機動的に動きやすいという面もあります。部員の減少は、すこしむづかしかったり、日程的に編集会議などに、参加しづらいことが原因かなと思ひますが。

後藤 フレンズは何かをみんなと一緒にするためにあるのではなく、地元で鑑賞したい人のためにあるのであつて、あまりむづかしく考えず一人一人フリーでよいのではないかと思ひますよ・・・。

司会 こうしてうかがっていると、今日の会のように、いろ



楽しみながら学ぶ研修会も開催しています

いろ話しあえる場が必要ですね。また、先輩スタッフは新しいスタッフに気配りし、声掛けすることも大切ではないでしょうか。これからもスタッフの活動を折に触れて機関紙で紹介していきたいと思ひます。

水野 年2回行っているスタッフ会議を活用して、そういう場でも、いろいろなご意見をもつともつと聞かせていただきたいと思ひます。

司会 それを補うのも機関紙の役目ですね。

後藤 何事も気軽に、やさしく受け止めていけば良いのではないですか。

水野 今日現在の会員数は565名で、そのうち約一割の方がスタッフに登録していただいています。

堀田 後継者を育てるにはどのような方法を考えてみえますか。

岩瀬 機関紙部として、機関紙はフレンズと会員一人一人とを結ぶ役割を果たしたいと願っています。またフレンズや文化の家の事業を広く知っていただくことも大切と思ひています。

後藤 後継者については、担当者が自分で考えながら取り組みを進

めることを目指しています。

渡辺 話が前に戻りますが、昨年と同じような話が出て、新しいスタッフの不安をのぞく試みがありました。これからフレンズスタッフの活動をうまくやっていくには、昨年出されたようなことも踏まえて、何が足りないかを考え行動することも大切ですね。そして、物事を進めたりするときは少人数の核になる人が大切と思ひます。また、何か行うときのキーワードは『楽しむためにはどうするか』です。音楽ビジネスとして一般の人にどうやったら受入れられるか、創造性も大切だと思ひます。

水野 いろいろ話が聞けて大変うれしかったです。とにかくフレンズが大好きという、それぞれ思いが伝わり、大変うれしく思ひました。私自身もその一人ですが・・・フレンズの運営についての反省点にも、いま気づけたことに感謝します。今後のステップアップのためにも『初心を忘れず、何事にも前向き』でいきたいですね。

水野 いろいろな話が聞けて大変うれしかったです。とにかくフレンズが大好きという、それぞれ思いが伝わり、大変うれしく思ひました。私自身もその一人ですが・・・フレンズの運営についての反省点にも、いま気づけたことに感謝します。今後のステップアップのためにも『初心を忘れず、何事にも前向き』でいきたいですね。

あらためて「フレンズ」とは

昨年12月発行、文化の家情報誌V o 1. 28に「文化の家フレンズ10周年」の特集記事が掲載されています。ぜひ一度目をお通しください。

フレンズ発足のいきさつ、10年の歩み、活動の様子などが詳しく紹介されています。

- 昨年12月24日現在の会員数は596名に達し過去最高です。
- フレンズ会員には ①文化の家の公演案内などを定期的に送付 ②各種公演の入場券先行発売 ③入場料金の割引 などの特典があります。
- フレンズは ①事業開催時の手伝い（ホールスタッフに参加）②機関紙発行 ③フレンズ自主事業「フレンズのつどい」の開催 ④会員またはスタッフ向けの研修 などの事業を行っています。
- 文化の家の運営にかかわるため、「文化の家運営委員会」にフレンズ会長が、「企画委員会」にフレンズ役員1名が参加しています。

1月・2月の主な催し物をご紹介します

詳しくは文化の家のパンフレットなどをご参照ください いずれの催し物も前売チケットを発売中です



劇王VI 番外編 **劇王再び**

～歴代劇王 夢の競演～

初代劇王 杉本明朗「仇討ち」
第2・3代劇王 品川浩幸「元パパ」
第4代劇王 柴幸男「あゆみ」「反復かつ連続」
「純粋記憶再生装置」(新作)

1月22日(木)・23日(金)
18:30開場 19:00開演

風のホール 全自由席

1日券前売 **フレンズ** 1,200円 一般1,500円

学生 1,000円

2日券 **フレンズ**・一般 2,000円

学生 1,500円

2009年 新春 **劇王VI**

東京・長野・大阪より各戯曲賞王者が揃い踏み
高水準の実力と実力がぶつかる、劇的合戦!

2月7日(土) Aプロ 14:00開演

Bプロ 18:30開演

2月8日(日) 決勝巴戦 14:30開演

(その他の時間帯にもスペシャルイベントあり)

風のホール 全自由席

前売 **フレンズ** 1,200円 一般 1,500円

3公演通し券 3,000円

今年のゲスト審査員

崔洋一(映画監督) 岩松了(劇作家・演出家・俳優)

一尾直樹(映画監督) 安住恭子(演劇評論家)

劇王VI 関連企画

平成20年度長久手町文化の家映像鑑賞会

2月特別上映会のご案内

いい爺いライダー

「ふるさと」って何だ。

市町村合併の嵐に爆走する年寄りたち。

2月8日(日) 17:15開演 開場は開演の30分前

光のホール 入場無料(定員100名)

監督:伊藤好一 脚本:斉藤征義

総合指導:崔洋一



編集者コラム

機関紙づくりが楽しい。頭を使う機会が減った私には格好の刺激となっている。企画から始まって印刷をし、フレンズ会員に発送するまで、心地よい緊張の中にいる。先日、別の所で子ども達と「農」に関する「カベしんぶん」を作り、全国コンクールの一次審査を通過した。子ども達の才能に脱帽。機関紙づくりも楽しいが、また別な楽しさを体験できた。

(い)

初笑いながくて寄席

ざこば 都丸 二人会

出演:桂 ざこば 桂 都丸 桂 ちょうば

2月11日(木・祝) 13:30開場 14:00開演

森のホール

前売 **フレンズ** 2,500円 一般 3,000円

当日 **フレンズ**・一般 3,500円

鍵盤DUO(デュオ)コンサート

88鍵
ピアノ

佐山雅弘×松田昌

37鍵
ピアノカ

Music×humor×happy

ミュージック ユーモア ハッピー

2月15日(日) 14:30開場 15:00開演

森のホール 全自由席

前売 **フレンズ**・学生 2,000円

一般 2,500円

当日 **フレンズ**・学生 2,500円

一般 3,000円

5年日記

ほんと
すぺーす

長久手町 長配在住 H

新たな年を迎え、今年から久しぶりに日記をつけることにした。それも5年日記!(10年日記にしようかと大いに迷ったが・・・)
5年日記とは日記の1頁が1日で、そこに5年分書けるようになっていくものである。1年後、2年後・・・の同日、私は何を想い何をしているのか、考えるだけでも楽しくなる。
昨年は、ガーデニングや手話など新たな楽しみが増えた1年であった。そこでは、いろいろな人との出会いがあり、大切にしたいこと、学んだこと、嬉しかったことなどが

たくさんあった。
また、文化の家のホールにも足を運び幸せな時間を過ごすことができた。疲れていた時、すばらしい演奏に何度も元気をもらった。本当に音楽の力って大きい。今年も、そんなすてきな時間が過ごせたらと楽しみにしている。そして、この日記に書きたくなるようなことがたくさんありますように!
さて、今年は何にチャレンジしようかな。

